

2024年度 事業計画

2024年4月1日から2025年3月31日

I. 公益目的事業

公1 母乳育児の支援及び啓発、普及事業

1. 母乳育児相談室における事業

(1) 母乳育児相談事業

- 1) 産婦・授乳婦とその家族を対象に、桶谷式乳房手技を中心とした母乳育児支援や保健指導、及び乳幼児の育児相談、離乳食指導などを桶谷式乳房管理士が行う。これにより母乳に対する妊産婦やその家族の不安を解消できるよう努める。必要時、訪問にて保健指導と乳房ケアを行う。
- 2) 相談室来院困難な、妊娠中・授乳中のお母さん向けに無料オンライン相談を1名30分枠で行う。
- 3) 相談室は早稲田・二子玉川・南浦和の3カ所で運営
- 4) 月曜日～土曜日 9:00～17:00(必要に応じ日曜も対応)
1名30分枠 予約制
- 5) 助産師稼働 常勤3名 パート5名
- 6) 助産師職員の「助産師賠償責任保険」加入

(2) 桶谷式乳房管理法研修センター研修生の実習指導

- 1) オケタニ母乳育児相談室早稲田・南浦和・二子玉川相談室にて、桶谷式乳房管理法研修センターの研修生(助産師)の実習指導を行う。
 - 2) 実習日時は月曜日～土曜日 9時～16時
 - 3) 研修生と担当助産師との実習カンファレンスを持ち、互いの知見の共有を行う。
- (3) 早稲田・南浦和相談室にて看護学生・助産師学生の実習受け入れを行う。実習生の受け入れを行うことにより職員のスキルアップをはかる。
- 予定学校：1) 帝京大学助産専攻科(助産師学生)見学実習
2) さいたま赤十字看護大学(看護学生)見学実習
3) 東京医療保健大学大学院高度実践助産コース(助産師学生・助産師)
4) 国際医療福祉大学大学院生

(4) 地域妊産婦へ相談母子保健活動を行い母乳で子育てをしていくことの情報提供を行う。

- 1) 「ニコ・ワークス」サイトにおいてオンライン母乳育児講習会開催予定。
 - 2) 地域子育てスペースを利用しパパママ向け「おっぱいセミナー」を開催。リーフレットを配布し、多くの方に母乳の重要性を知ってもらう活動をする。
- (5) 一般市民を対象とし、母乳育児の理解を深めてもらうための活動
- 1) 地域妊産婦および来所者対象の講習会の開催
 - 2) 子育て応援イベント、育児サークルの開催(母乳のワークショップ等)

- 3)地域のイベント(町内会のお祭りなど)に参加協力し、相談室の活動への理解を広める。
- 4)相談室スタッフが中心になって、インスタライブを開催し、お母さん方が気軽に母乳育児の悩みや楽しみを共有できる場を設定する。
- (6)協会が発行する「育児通信」の配布等により、妊産婦への情報提供を行う。
- (7)「うらわ子育て支援センターおっぱい相談」にて、南浦和相談室職員1名が月1回、母乳育児相談を行う。

2.セミナーの開催

(1)オンライン桶谷セミナー開催

日時：2024年11月10日(日)

対称：桶谷式乳房管理士、研修センター研修生、賛助会員、非会員の助産師や医療従事者

方法：リモートにより開催

主催：教育企画委員、教育部

内容：業務実態調査発表

講演1 講師 荒堀憲二先生

テーマ これからの分娩が保険診療になったときの助産院の在り方

講演2 講師 大山牧子先生 テーマ 子どもの偏食・摂食障害について

(2)一般助産師対象とした桶谷式母乳育児の普及と広報

研修センター企画の母乳育児支援に関するセミナー(主催・教育広報委員会)

(3)2024年度日総研「母乳育児セミナー」開催する。(教育広報委員会)

- ・講師3名によるオンディマンドセミナー(2024年11月頃を予定)
- ・日総研担当者と内容検討
- ・宣伝活動(日総研ホームページ、日総研会員告知、桶谷メール、LINE、インスタグラム)

3.情報提供

(1)母乳育児冊子「育児通信」年4回発行(育児通信委員会)

1)桶谷式母乳育児推進協会の広報

2)母乳育児期間を楽しく健康に過ごすために有益な情報の提供

3)子育てママの孤独化の軽減

(2)ホームページ(ホームページ委員会)

1)ホームページ更新

ア.ママサイトのお知らせの更新

イ.クローズアップ相談室の掲載

ウ.育児通信やさしいごはんの登録(3カ月ごとに4~5品)

エ.Q&A記事の登録更新

オ.離乳食動画

- 2)お問い合わせメール対応
 - 3)開業者ホームページのパトロール(10月)
 - 4)会員専用ページの会員情報のメンテナンスと会員のサポート
 - 5)OPPA！相談室検索サイトの充実
 - 6)桶谷式 YouTube 離乳食更新
- (3)妊産婦への情報提供
- 1)「育児通信」の無料配布
 - 2)初診の方へ「おっぱいルームアドバイス」の育児冊子と手技用タオルの無料配布
 - 3)乳がんパンフレット(対がん協会作成)の無料配布及び自己検診の推進
 - 4)妊婦向けの母乳教室の開催と産後ケアの紹介
 - 5)「マタニティ&ベビーフェスタ 2024」(2024年4月6日・7日、パシフィコ横浜で開催予定)の「プレパパ・プレママ教室」体験ブースに参加。(教育広報部・神奈川ブロック)
- (4)協会が取り扱う母乳育児用品(オリジナルクッション、おんぶ紐、哺乳器、馬由等)についての情報提供。

4.調査・研究

- (1)学術的研究活動(学術研究委員会)
- 桶谷式に関する研究が盛んに行われるようサポートする。
- 1)歴代の会員が行った研究演題をホームページにアップする。
 - 2)総会で会員からリサーチクエストを募る。
- (2)業務実態調査(業務実態調査委員会)
- 1)業務実態調査の集計フォームを会員へ配信し、結果の集計・分析を行う。
 - 2)2023年業務実態調査の集計・分析結果を桶谷セミナーで発表する。
 - 3)マニュアルを作成し、引き継ぎの円滑化をはかる。
- (3)倫理審査委員会
- 職務権限規程第11条に基づき、本会会員の行う助産学の人間を対象とした教育・研究・地域活動が、ヘルシンキ宣言やニュルンベルグ綱領の主旨に即して倫理的に実践されているかどうかの審査を行う。
- (4)研究発表に向けての連絡・調整

5.国際協力(海外活動委員会)

- (1)JICA 草の根支援 パートナー型プロジェクト活動計画立案と実施
- 1)5月、9月、11月、2月の年4回の渡航により、研修等を実施する。
マスタートレーナー、TOT(Trainer of Training)の養成に努める。
 - 2)現地スタッフ、日本 JICA 担当者、渡航予定者と連携し、プロジェクトの目標達成を目指す。

- 3) JICA 草の根支援 パートナー型プロジェクト第3フェーズ申請に向け準備する。
 - 4) JICA における研修や会議に参加する。
 - 5) 国際協力活動に関して、桶谷の広報活動を実施する。
- (2) 海外からの問い合わせへの対応と渉外活動

公2 教育、育成のための事業

1. 研修センターの運営

- (1) 桶谷式乳房管理法手技による母乳育児の支援を通して、母子の健康の増進に寄与する有能な助産師を育成することを目的とする。実習場所での過密を避けること、研修の機会を増やすことを目的に2023年度より二期制で運営している。

東京 41 期生(2023 年 10 月開講、2024 年 9 月修了)7 名

東京 42 期生(2024 年 4 月開講、2025 年 3 月修了)7 名

東京 43 期生(2024 年 10 月開講、2025 年 9 月修了)8 名募集予定

(2) 教育計画

1) 学科

担任教務による講義・研究・実技演習

第一種会員による臨床講義(専門科目 I)

外部講師による母乳育児支援関連科目の講義(専門科目 II)を行う。

2) 実習

基礎実習：オケタニ母乳育児相談室(早稲田、二子玉川、南浦和)

開業相談室実習 I：1 人 3 週間 2 カ所

開業相談室実習 II：1 人 2 週間 2 カ所

- 3) 実習で受け持った継続事例をレポートにまとめ、事例検討会を年3回開催する。

- 4) 選択科目として実践活動や母乳育児に関する看護研究を行う。

東京 41 期生は地域イベントに出展参加予定。

- 5) 半年に一度防災訓練を行う。

- 6) 第一種会員に向け、研修センター便り「早稲田の風」を年4回発行

(3) 2024 年度入学試験

1) 東京 43 期生(2024 年 10 月開講) 2024 年 6 月 15 日(土)定員 8 名

2) 東京 44 期生(2025 年 4 月開講) 2024 年 12 月 1 日(日)定員 8 名

(4) 研修センターについての広報活動

1) ホームページ、SNS での発信

2) 医学書院『助産雑誌』、メディカ出版『ペリネイタルケア』広告掲載予定

3) 学校説明会、研修センター企画セミナーの開催

(5) 研修センター改革プロジェクトチーム活動

目的：研修生のニーズや社会変化への対応を勘案し、より効果的で発展的な研修のあり方

を検討する。

活動：・新研修要綱の作成

- ・総会資料の作成・総会での新カリキュラムの説明
- ・ホームページの更新
- ・東京 44 期生募集要項の作成及び公募
- ・開業相談室実習指導要綱の作成
- ・研修センターのパンフレット作成

2.資格付与事業

研修センターで研修を修了し、資格認定委員会が実施する資格認定試験に合格した者に、資格認定規程に定める「桶谷式乳房管理士」の資格を付与する。

(1)桶谷式乳房管理士

資格認定試験に合格し、登録手続きが完了した認定者に本資格を付与する。

資格者は資格認定名簿に登録され、「桶谷式乳房管理士」として手技活動を行うことができる。

(2)資格認定委員会：8月・2月末開催予定

学年末に、認定試験の結果に基づき資格認定審査のための会議を行う。

3.教育の充実と技術向上のための研修・サポート事業

(1)ワークショップを担当ブロックで開催

テーマ：今年度より「桶谷の Next Stage」

開催ブロック：東京東、千葉、近畿第一

(2)手技ステーション：卒業後の手技向上

(3)卒後研修プロジェクト 2030

- 1)手技ステーション増設のために、新担当者向けの講習会を開催。
- 2)桶谷式について定義する。
- 3)手技のラダーを作成する。

(4)ブロック主催講習会の開催と奨励

- 1)ブロック出張手技講習会
- 2)ブロック内手技講習会
- 3)ブロック主催講演会

(5)乳房管理士集会の開催

オンライン対談動画配信

テーマ：奥を開けるまでの歩み(仮題)

配信期間：2024年6月17日～7月7日

(6)ベテラン認定者の手技撮影

(7)東京 40 期生・41 期生の卒後 1 年間のサポート

- 1)担当認定者が主となり、研修センター修了後のサポートをする。
- 2)総会やブロック会への参加、講演会やワークショップ、手技講習会への参加を促し、会員としてしての自覚を高め、協会に親しめるようになるためのフォローを行う。

(8)教育企画委員会活動

- 1)講師候補が出席する学会や講義などに参加し、情報収集を行う。
- 2)2024 年度セミナー運営協力
 - ア.IBLCE 継続教育単位発行の申請と継続教育単位原稿の作成、個人情報関連の原稿の作成。
 - イ.セミナーの司会進行
- 3)2025 年度セミナーの講師候補への依頼

4.奨学金制度

桶谷式乳房管理法を学ぶ研修生に対しての、経済的な援助のための資金(そとみ基金)。

貸与条件 桶谷式乳房管理法研修センター入学者

貸与額 1 名 50 万円以内とし、年間 100 万円を限度とする。

利息 無利息とする。

返済 卒業後 3 年以内に分割または一括返済

5.会員のための情報提供

(1)会報「折り鶴」発刊を継続する。

- 1)9 月・3 月発行
- 2)桶谷先生の「心」「想い」を後世に伝える。(桶谷先生語録・リレー)
- 3)会員の活動、受賞報告など情報発信と会員相互の意見交換の場とする。
- 4)桶谷先生語録のホームページへの掲載など、関係部署との連携をはかる。

(2)ホームページの会員サイトを活用する。

- 1)桶谷メールによる各部・委員会の情報の配信
- 2)「お知らせ」に各種書類の掲載
- 3)桶谷資料(会員名簿、各種規約規程、年間スケジュールなど)の内容更新
- 4)新規開業者のお知らせを 1 カ月ごとに桶谷メールで配信する。

(3)「事業部通信」年 4 回発行

(4)安全管理対策情報の提供。助産所開業マニュアル・安全管理基準の案内と徹底。

(5)感染症対策に関する情報提供(感染症対策委員会)

(6)災害対策マニュアルを整備し周知する。

II. 収益事業

収 1 事業

1. 母乳育児用品の開発・製造・販売及び書籍出版事業・発送業務

母乳育児用品の販売について、今後も収益事業の基盤としての役割を継続できるかどうかの見極めを今年度の最優先課題とする。

(1) 協会が取り扱う母乳育児用品の販売促進と桶谷推奨品の選定

- 1) 取扱商品の販売促進のため、事業部通信・桶谷会員メール等で紹介していく。
- 2) 取扱商品の管理を行い、取引先と最新の商品情報を共有する。
- 3) 桶谷推奨品の選定と認定基準の明確化を進める。

(2) 母乳育児用品の販売・紹介と商品ラインナップの見直しを行い、商品の販売促進を積極的に進める。

(3) 発送業務の課題・改善点の検討

- 1) 売掛金の回収を徹底する。
- 2) 取扱商品の在庫管理のシステム化を進める。

(4) 新商品の作成

- 1) 授乳クッションの新規開発を進める。
- 2) 乳型の製作者の選定と製造・販売を行う。

(5) 取引先企業の「育児通信」誌上などへの広告掲載の促進を行う。

- 1) 商品受注方法の円滑化を検討する。

(6) 書籍の出版、販売

- 1) 「おっぱいルームアドバイス」の売上を伸ばす方法を研究する。
相談室初診者だけでなく、イベント・セミナー会場など販売機会の拡大を検討する。

(7) 商品ラインナップの見直しと商品の取捨選択

6月定時社員総会後のキャンペーン開始までに、現在の商品ラインナップの見直しを行う。一定の粗利を満たさないものについては取り扱い継続の中止を検討し、見直しの結果は総会後に更新する「2024年度注文用紙」に反映させる。

(8) 新規商品の開発・導入

新規の商品の開発・導入にあたっては、一定の粗利を継続的に確保できる見通しのあるものに限定して商品化を進めることを前提とし、既存商品については買取を行わないことを原則とする。

2. 商品の使用方法の解説テキスト・ビデオ制作を行う

哺乳瓶「桶谷式直接授乳訓練用乳首母乳相談室」「オケタニおんぶひも」の使い方を解説するテキストとビデオの制作を行い、指導と使用の手助けにする。

3.協会直営母乳育児相談室の運営

協会直営の母乳育児相談室において、桶谷式乳房管理士が母乳育児支援と乳幼児の育児相談、離乳食指導などを行い、また、取扱商品の推奨や販売を行う。

収 2 事業

1.産後ケア事業

(1)デイケア型

1)月～金 9:00～18:00 (祝祭日は休み)、オケタニ早稲田ビル 3階で行う

2)対象：出産後～子どもの1歳の誕生日までの母と子

3)ケア内容：乳房ケア・授乳指導・育児相談・沐浴・身体計測など

(2)アウトリーチ型(2時間程度)

母子の自宅を訪問し、乳房ケア・授乳指導・育児相談・沐浴・身体計測などを行う。

(3)スタッフは東京中ブロックを中心に近隣の第一種会員と協会の職員で構成する。

(4)中野区の産後ケア事業を受託し、活動する。

(5)今年度の利用者目標

デイケア：2回/週 2人/日 年間約190人

アウトリーチ：3人/週 年間約140人

(6)産後ケア事業の情報発信やPRは、中野区ホームページ、パンフレット、SNSなどで行う。

その他の事業

1.助産院開業資金等の貸与(そとみ基金)

(1)開業資金の貸与

桶谷式乳房管理士取得者が母乳育児相談室を設置する際の助産院開業資金。

貸与条件 理事会が書類審査を行い決定する。

貸与額 1名50万円以内とし、年間100万円を限度とする。

利息 無利息とする。

返済 貸与後3年以内に分割または一括返済

(2)事業資金等の貸与

桶谷式乳房管理士が運営する母乳育児相談室の事業資金。

貸与条件 理事会が書類審査を行い決定する。

貸与額 1名50万円以内とし、年間200万円を限度とする。

利息 無利息とする。

返済 貸与後3年以内に分割または一括返済

(3)奨学金の貸与(公 2.4.奨学金制度参照)

2.表彰事業

(1)感謝状贈呈

75 歳以上で認定歴 15 年以上を対象とし、その年の総会で表彰する。

2024 年に 75 歳になる方、11 名を表彰予定。

(2)村松志保子顕彰会の参加

1)表彰会員の推薦。2024 年度は 2 名を推薦予定。

2)年会費 5,000 円の納入と毎年の寄付 20,000 円

3.福利厚生、交流会の開催

(1)災害等慶弔見舞金の支給

弔慰金規程(職員)及び災害等慶弔見舞金規則に基づいて支給する。

(2)2025年度懇親会の準備(桶谷式母乳管理法研鑽会発足45周年記念を兼ねる会)

総会と同日に横浜市内で夕食開催。桶谷の歩みを振り返り、先輩後輩間の交流をはかる会を計画する。

(3)2026 年度以降の懇親会の準備をする。

(4)ブロック会マニュアルに則り災害慶弔等見舞金の支給

法人運営に関する事業

1.桶谷戦略プロジェクト

桶谷式母乳育児推進協会が公益社団法人として安定した事業展開ができるように、協会全体の経営基盤を見直す。

2.会議の開催

(1)2024 年度定時社員総会を横浜市にて 2024 年 6 月 16 日に開催する。

会場参加を積極的に呼びかけ、より活発な意見交換が出来る総会を開催する。

(2)2025 年度総会の準備をする。

(3)2026 年度総会の準備をする。

(4)理事会を開催する。(年 5 回以上)

(5)監査を年 2 回行う。

(6)運営人事委員会を開催する。(年 12 回)

(7)ブロック長理事合同会議を開催する。(年 2 回)

(8)各ブロック会におけるブロック会議を開催する。(各ブロック年 3 回以上)

3. 改定後のブロック会運営規程とブロック会マニュアルの運用を開始する。

4.広報活動

- (1)推進協会の広報活動に関する問題点と課題を抽出する。
- (2)協会の外部への広報活動
 - 1)イベントに参加し協会の認知度を上げる。
 - 2)オケタニ LINE 公式アカウントやインスタグラムを活用する。
 - 3)アカウント数を伸ばし、多くのお母さま方へ登録を促す方法を検討する。

5.災害対策訓練の実施

災害発生を想定し、災害対策本部立ち上げから被災ブロックの安否確認までの災害支援シナリオ作成し、実地訓練を行う。(10月予定)

6.適切な法人運営に関する事業

- (1)適切な法人運営に関し、顧問弁護士、税理士、社会保険労務士の助言を受ける。
- (2)適切な法人運営に関し、各種保険に加入する。日本助産師会への入会や助産師賠償責任保険への加入を推進する。
- (3)適切な法人運営に関し、情報管理に関する業務を行う。
 - 1)会員情報の把握・整理
 - 2)開業者ホームページのパトロール(10月予定)
 - 3)会員専用ページの会員情報について総務と連携し、会員のサポートを進める。
 - 4)ホームページ委員会マニュアルの作成
 - 5)安全管理事例報告書の作成と整理
 - 6)「お母さまからの声」報告書の作成と整理
 - 7)「認定者の声」報告書の作成と整理
 - 8)資料・記録の整理・保管
- (4)適切な法人運営に関し、オケタニ早稲田ビルの管理・維持を行う。
- (5)適切な法人運営に関し、事務局運営を行う。
- (6)適切な法人運営に関し、財務の管理を行う。
- (7)各委員会、各プロジェクトメンバーへの委嘱状発行
- (8)理事関連
 - 1)選挙管理委員の推薦、総会時の選挙運営
 - 2)理事・監事の改選時の登記変更

収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人	内部取引 消去	合計
	公1	公2	公益共通	小計	収1	収2	他1	小計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取入金金	0	0	350,000	350,000	0	0	0	0	350,000	0	700,000
受取入金金			350,000	350,000				0	350,000		700,000
受取会費	0	0	10,829,000	10,829,000	0	0	779,790	779,790	10,049,210	0	21,658,000
受取会費			10,829,000	10,829,000			779,790	779,790	10,049,210		21,658,000
事業収益	25,887,600	27,410,000	618,750	53,916,350	26,352,400	3,000,000	0	29,352,400	618,750	0	83,887,500
受取審査料		140,000		140,000				0			140,000
機関誌収益	1,930,000			1,930,000				0			1,930,000
セミナー事業収益	110,000			110,000				0			110,000
研修センター事業収益		27,270,000		27,270,000				0			27,270,000
相談室事業収益	23,562,000			23,562,000	9,438,000			9,438,000			33,000,000
物品売上(相談室)	285,600			285,600	114,400			114,400			400,000
物品売上				0	16,000,000			16,000,000			16,000,000
産後ケア事業収益				0		3,000,000		3,000,000			3,000,000
受取手数料				0	800,000			800,000			800,000
ブロック受取会費			618,750	618,750				0	618,750		1,237,500
受取補助金等	8,523,900	0	0	8,523,900	0	0	0	0	0	0	8,523,900
受取補助金	8,523,900			8,523,900				0			8,523,900
受取寄付金	0	0	1,185,065	1,185,065	0	0	0	0	0	0	1,185,065
受取寄付金			420,000	420,000				0			420,000
指定正味財産からの振替額			765,065	765,065				0			765,065
雑収益	157,800	1,680,000	0	1,837,800	777,200	0	0	777,200	35,300	0	2,650,300
受取利息				0				0	300		300
雑収益	157,800	1,680,000		1,837,800	777,200			777,200	35,000		2,650,000
経常収益計	34,569,300	29,090,000	12,982,815	76,642,115	27,129,600	3,000,000	779,790	30,909,390	11,053,260	0	118,604,765
(2) 経常費用											
事業費	45,365,333	31,490,453	132,000	76,987,786	22,366,547	2,747,704	779,790	25,894,041		0	102,881,827
給料手当	22,116,213	17,883,445		39,999,658	4,920,593	740,734	52,910	5,714,237			45,713,895
臨時雇賃金	1,850,000	1,589,000	60,000	3,499,000	120,000	700,000	0	820,000			4,319,000
法定福利費	2,285,206	1,847,846		4,133,052	508,431	76,538	5,467	590,436			4,723,488
福利厚生費	465,234	376,194		841,428	103,509	15,582	719,613	838,704			1,680,132
仕入高	142,800			142,800	12,057,200			12,057,200			12,200,000
広告費	309,996	330,000		639,996	4,004	0		4,004			644,000
研修教育費	50,000	0		50,000				0			50,000
講習会費	1,540,000	590,000		2,130,000				0			2,130,000
会議費	807,000	73,000		880,000	80,000	70,000		150,000			1,030,000
旅費交通費	3,420,694	1,338,196		4,758,890	406,000	5,000		411,000			5,169,890
通信運搬費	769,600	268,200	60,000	1,097,800	549,400			549,400			1,647,200
諸謝金	320,000	3,248,222		3,568,222				0			3,568,222
印刷製本費	53,500	204,000	11,000	268,500	12,000			12,000			280,500
消耗品費	828,400	313,000	1,000	1,142,400	207,600	50,000		257,600			1,400,000
修繕費	284,550	349,650		634,200	32,550	284,550		317,100			951,300
水道光熱費	662,400	518,400		1,180,800	311,400	25,200	1,800	338,400			1,519,200
図書費	10,000	150,000		160,000				0			160,000
諸会費		50,000		50,000				0			50,000
支払手数料	656,100	66,000		722,100	307,400	35,000		342,400			1,064,500
地代家賃	2,927,400			2,927,400	1,172,600			1,172,600			4,100,000
賃借料	321,300			321,300	158,700			158,700			480,000
サイト運営費				0		30,000		30,000			30,000
保険料	728,520			728,520	51,480			51,480			780,000
租税公課	1,573,200	1,795,600		3,368,800	1,297,200	421,200		1,718,400			5,087,200
研究費	30,000	100,000		130,000				0			130,000
機関誌発行費	2,670,000			2,670,000				0			2,670,000
減価償却費	243,900	299,700		543,600	27,900	243,900		271,800			815,400
雑費	119,320	100,000		219,320	38,580	50,000		88,580			307,900
海外慶弔費	180,000			180,000				0			180,000
管理費									18,174,295	0	18,174,295
役員報酬									1,560,000		1,560,000
給料手当									7,195,705		7,195,705
臨時雇賃金									90,000		90,000
法定福利費									743,512		743,512
福利厚生費									151,368		151,368
会議費									1,055,210		1,055,210
旅費交通費									1,647,100		1,647,100
通信運搬費									167,300		167,300
印刷製本費									125,500		125,500
消耗品費									205,700		205,700
修繕費									98,700		98,700
水道光熱費									280,800		280,800
諸会費									50,000		50,000
支払手数料									412,000		412,000
賃借料									700,000		700,000
サイト運営費									370,000		370,000
保険料									120,000		120,000

